

NEWS RELEASE



2023年4月14日
日本新薬株式会社
広報部

各位

デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「NS-089/NCNP-02」の国際共同第Ⅱ相試験 米国FDAとの治験計画合意に関するお知らせ

日本新薬株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：中井 亨、以下「当社」）は、このたび、デュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）を対象とした「NS-089/NCNP-02」（以下「本剤」）の国際共同第Ⅱ相試験（以下「本試験」）について、米国食品医薬品局（FDA）と治験計画の合意に至ったことをお知らせいたします。

DMDは、筋肉細胞を支えるジストロフィンタンパク質の欠損が原因で、骨格筋、心筋、肺の筋力低下を引き起こす進行性の筋ジストロフィーです。DMDにはさまざまな遺伝子変異型があり、本剤の投与対象となるのは、エクソン44スキッピングにより治療可能な遺伝子変異が確認されたDMD患者さんです。

本剤は、当社と国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター（小平市、理事長：中込 和幸）との共同研究から見出されたアンチセンス核酸です。本剤によりジストロフィン遺伝子の一部の遺伝情報が読み飛ばされ、鎖長がやや短いものの機能を有するジストロフィンタンパク質が産生されることで、筋機能低下の抑制効果が期待されています。

本試験では、エクソン44スキップにより治療効果を示す可能性があるデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者さんを登録予定です。米国での開発は、当社の米国子会社NS Pharma, Inc.（本社：米国ニュージャージー州、社長：田中 次男）が実施する予定です。なお、日本国内においても臨床試験を準備中です。

当社は、難病・希少疾患治療剤の開発に使命感を持って取り組んでおり、DMDでお困りの患者さんに必要な治療薬をお届けできるよう、一日も早い製品化を目指しています。

以上